

受付状況と傾向

[9月都受付分]

9月の相談件数は3,253件で、対前月比8.1%の減少、対前年同月比では2.0%の増加であった。

架空・不当請求に関する相談件数は1,098件で、対前月比4.0%の減少である。「携帯電話に、300万円当選したとメールがあり、手続きのため2万円払うように書いてあったので、カード決済をした。その後、なぜか出会い系サイトから後払い料金を請求するメールが届き支払ったが、結局賞金は受け取れない。騙された」といった相談が寄せられている。

高齢者の相談は540件あり、対前月比0.6%の増加、対前年同月比では11.5%の減少であった。

「未公開株」に関する相談、「健康食品」の効能効果やマルチ取引の信用性に関する相談が多くみられた。

[19年度上半期に寄せられた相談の傾向 都受付分（速報）]

19年度上半期に寄せられた相談は20,870件あり、前年同期と比べると8.9%の増加となった。これは、アダルトサイトなど有料サイト利用料金の架空・不当請求の増加、また大手英会話教室の中途解約や、倒産に関する相談が増加したことが一因であると考えられる。

契約当事者の年代をみると、前年同期と比べて20歳代から40歳代の件数が大きく増加している。商品・役務別では、英会話教室の中途解約に関する相談、携帯電話サービスに関する相談が増加し、「教室・講座」、「電報・電話」に関する相談が前年同期に比べて増加している。特殊販売の購入形態別件数をみると、アダルトサイト利用料金等の架空・不当請求の増加により、「通信販売」が大きく増加している。販売方法・手口別では、「無料商法」が1.3倍と増加している。

1. 相談件数（19.4.1～19.9.28 受付分）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
平成19年度	3,462	3,409	3,769	3,438	3,539	3,253	20,870
平成18年度	2,856	3,173	3,485	3,120	3,342	3,188	19,164
対前年比	121.2%	107.4%	108.1%	110.2%	105.9%	102.0%	108.9%

2. 商品・役務別上位10位（対前月・対前年同月）

順位	19.9月	19.8月（前月）	18.9月（前年同月）
1	電話情報提供サービス 518	電話情報提供サービス 500	オンライン情報サービス 385
2	オンライン情報サービス 458	オンライン情報サービス 472	電話情報提供サービス 351
3	フリーローン・サラ金 171	フリーローン・サラ金 204	フリーローン・サラ金 290
4	賃貸アパート 168	賃貸アパート 167	商品一般 283
5	商品一般 93	商品一般 118	賃貸アパート 136
6	外国語・会話教室 71	移動電話サービス 70	相談その他 69
7	移動電話サービス 60	外国語・会話教室 69	株 68
8	オンライン等関連サービスその他 53	オンライン等関連サービスその他 61	健康食品 50
9	相談その他 47	相談その他 54	化粧品 45
10	健康食品 46	エステティックサービス 53	他の内職・副業 42

3. 内容キーワード上位 10 位 (対前月・対前年同月)

順位	19.9月		19.8月(前月)		18.8月(前年同月)	
1	インターネット	1,141	インターネット	1,186	不当請求	978
2	不当請求	1,098	不当請求	1,144	インターネット	848
3	電子商取引	982	電子商取引	1,019	ポルノ・風俗	734
4	ポルノ・風俗	684	ポルノ・風俗	699	解約	530
5	解約	612	解約	684	信用性	503
6	信用性	418	信用性	434	プライバシー	420
7	返金	364	返金	406	高価格・料金	397
8	高価格・料金	340	高価格・料金	314	返金	344
9	説明不足	272	説明不足	309	強引	287
10	無料商法	239	無料商法	256	説明不足	251

* 1つの相談に複数のキーワードを付与している。

4. 架空・不当請求に関する相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成19年度	821	998	1,053	1,037	1,144	1,098							6,151
平成18年度	972	964	912	825	978	1,022	914	823	833	843	937	1,017	11,040

* 内容キーワードに「不当請求」と付与している件数。

5. 高齢者相談

(1) 受付件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成19年度	500	501	592	515	537								2,645
平成18年度	505	524	553	479	513	610	523	544	493	514	521	495	6,274

540

(2) 商品・役務別上位 5 位 (対前月・対前年同月)

順位	19.9月		19.8月(前月)		18.9月(前年同月)	
1	株	34	生命保険	27	フリーローン・サラ金	43
2	オンライン情報サービス	27	フリーローン・サラ金	26	商品一般	42
3	フリーローン・サラ金	22	電話情報提供サービス	26	株	38
4	健康食品	21	株	25	医療用具	22
5	電話情報提供サービス	21	商品相場	21	相談その他	20

(3) 販売方法、手口別キーワード (対前月・対前年同月)

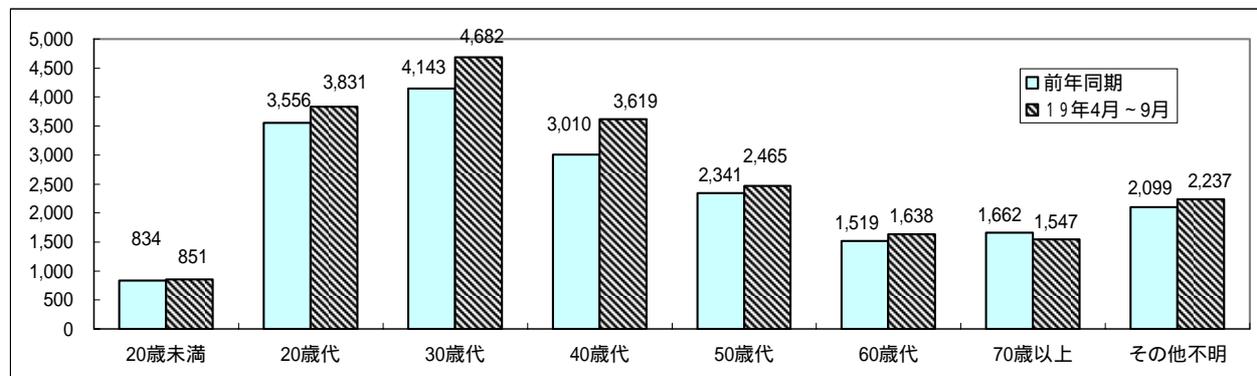
	19.9月		19.8月(前月)		18.9月(前年同月)	
電話勧誘	56	電話勧誘	53	家庭訪販	82	
家庭訪販	53	家庭訪販	52	電話勧誘	70	
電子商取引	51	電子商取引	41	利殖商法	39	
利殖商法	42	利殖商法	41	判断不十分者契約	29	
無料商法	21	判断不十分者契約	23	次々販売	28	

* 1つの相談に複数のキーワードを付与している。

(4) 平成19年4月～9月 相談の傾向
相談件数の推移(年代別)

	19年4月～9月	前年同期	対前年同期比
相談件数	20,870	19,164	108.9%

契約当事者の年代別件数



商品・役務別上位10位と主な相談内容

順位	19年4月～9月	前年同期	対前年同期比	主な内容(19年4月～9月)	
	合計	20,870	19,164	108.9%	
1	他の運輸通信	5,959	4,841	123.1%	アダルトサイトなど有料サイト利用料金の不当請求等
2	レンタル・リース・貸借	1,495	1,290	115.9%	賃貸アパートの保証金返還
3	融資サービス	1,371	1,835	74.7%	サラ金等の多重債務、金利・利息等
4	教室・講座	954	465	205.2%	外国語教室等の中途解約、返金、倒産等
5	商品一般	549	969	56.7%	消費料金未納等の不当請求等
6	電報・電話	555	314	176.8%	携帯電話サービスの解約、料金等
7	役務その他	538	522	103.1%	結婚相手紹介サービス、自費出版結婚紹介サービスの解約等
8	預貯金・証券等	514	650	79.1%	株や匿名組合等への出資によるトラブル等
9	相談その他	436	467	93.4%	振り込め詐欺、労働関係相談等
10	文具・事務用品	429	334	128.4%	携帯電話機、小型コンピューター等の早期故障等

特殊販売の購入形態別件数(対前年同期比)

	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブ	その他無店舗	合計
19年4月～9月	1,536	8,245	349	652	31	248	11,061
18年4月～9月(前年同期)	1,680	7,550	373	879	33	213	10,728

販売方法・手口別件数と主な商品・役務

	19年4月～9月	前年同期	対前年同期比	主な商品・役務(19年4月～9月)
電子商取引	4,811	354	1359.0%	有料サイト利用料金、文具・事務用品、音響映像製品等
無料商法	1,191	941	126.6%	有料サイト利用料金、エステ、携帯電話、化粧品、医療用具等
電話勧誘	924	1,145	80.7%	未公開株、投資用分譲マンション、サラ金、商品相場等
家庭訪販	621	675	92.0%	住宅リフォーム工事、浄水器、学習教材、新聞等
二次被害	360	398	90.5%	有料サイト利用料金、複合サービス会員、資格講座、学習教材等
利殖商法	344	359	95.8%	未公開株、商品相場、投資用分譲マンション等
サイドビジネス商法	332	434	76.5%	内職・副業、健康食品、化粧品、浄水器等
販売目的隠匿	236	299	78.9%	化粧品、アクセサリ、美顔器、掃除用具等
キャッチセールス	199	247	80.6%	化粧品、教室・講座、エステ、美顔器等

* 1つの相談に複数のキーワードを付与している。